

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
子どもと音楽Ⅱ	2	通年	演習	2	中池順子 石原真子 大藪秀子 嶋戸超子 引地えり子 古川真佐子 丸岡紀美子 山口紀子 藤田麻美

○授業の到達目標及びテーマ

テーマ：領域「表現」のねらい及び内容を踏まえながら、保育現場に必要な「生活の歌」「童謡曲」「合奏」等の音楽活動に関する知識や技能を高め、総合的な音楽活動を計画、指導、実践する力を身につける。

到達目標

- 1) 乳幼児の発達や学びの段階を理解し、段階に応じた意欲や能力を引き出せるような音楽活動の指導ができる。
- 2) 音楽に親しみ豊かな感性を養える音楽活動（童謡の弾き歌いやリズム楽器、合奏）の構成、計画、指導ができる。
- 3) 「子どものうた」「合奏」「リズム遊び」の活動の中で具体的な音楽活動を想定した指導案の作成ができる。

○授業の概要

領域「表現」のねらい及び内容についての理解を深め、乳幼児の感性や創造性を豊かにする音楽活動（歌唱やリズム奏、簡単な合奏）について実践的に学び、表現活動を支援するための知識、技能を身につける。

○授業計画

授業計画

第1回：領域「表現」のねらい、内容を理解する。

生活の歌①「おはようのうた」

第2回：園生活における音楽の重要性について学ぶ

生活の歌②「おかえりのうた」「さようならのうた」

第3回：幼児の音楽教育の現状と問題点について考える。

生活の歌③「おべんとう」

第4回：乳幼児のからだの発達と音楽について学ぶ。

生活の歌④「歯をみがきましょう」

第5回：乳幼児の感性と表現の発達について学ぶ。

行事の歌①母の日

第6回：乳幼児の生活と遊びについて考える。

行事の歌②父の日

第7回：手拍子、リズム遊びの実践活動を学ぶ。

行事の歌③クリスマス、お正月

第8回：手拍子、リズム遊びの展開例を考える。

行事の歌④ひなまつり

- 第9回：リズムクラッピング（リズムアンサンブル）の実践活動を行う。「小さなカノン」
行事の歌⑤入園・卒園の歌
- 第10回：リズムクラッピングの応用例を学ぶ。「2声のアンサンブル」
4月の童謡曲弾き歌い
- 第11回：幼児が親しみやすい楽器（打楽器）の特徴、奏法について学ぶ。
「カスタネット」「タンブリン」「すず」「トライアングル」
5月の童謡曲弾き歌い
- 第12回：幼児が親しみやすい楽器（打楽器「大太鼓」「小太鼓」）の特徴、奏法について学ぶ。
6月の童謡曲弾き歌い
- 第13回：幼児が親しみやすい楽器（打楽器）を使って表現活動を行う「おおきなたいこ」「海」
7月の童謡曲弾き歌い
- 第14回：幼児が親しみやすい打楽器と鍵盤ハーモニカ・オルガンを使って簡単な合奏を行う。
「きらきら星」「聖者の行進」
8月の童謡曲弾き歌い
- 第15回：合奏の指導法について学ぶ。
9月の童謡曲弾き歌い
- 第16回：保育現場におけるマーチングの現状と問題点について学ぶ。
10月の童謡曲弾き歌い
- 第17回：幼児の音楽教育①ダルクロワーズ「リトミック」
11月の童謡曲弾き歌い
- 第18回：幼児の音楽教育②オルフ「即興的表現」
12月の童謡曲弾き歌い
- 第19回：幼児の音楽教育③コダーイ「ハンドサイン」
1月の童謡曲弾き歌い
- 第20回：幼児の音楽教育④モンテッソーリ「感覚教育」
2月の童謡曲弾き歌い
- 第21回：日本の子どもの歌の歴史
3月の童謡曲弾き歌い
- 第22回：子どもの歌や楽器を使った指導案の作成①基本的な考え方
- 第23回：子どもの歌や楽器を使った指導案の作成②年齢と教材の選択について
- 第24回：子どもの歌や楽器を使った指導案の作成③わらべうた
- 第25回：子どもの歌や楽器を使った指導案の作成④グループ活動
- 第26回：作成した指導案に沿って教材研究を深める
- 第27回：3歳児未満の指導案に沿って模擬保育を行い、その振り返りを通して改善を行う。
- 第28回：3歳～5歳児の指導案に沿って模擬保育を行い、その振り返りを通して改善を行う。
- 第29回：保育の現場での参観や保育体験を行い、実際の幼児の動きや反応について意見を出し合い今後の活動内容に活かす。
- 第30回：目標とまとめの確認

定期試験 正式伴奏による童謡弾き歌いの実技試験を行う

○テキスト

「うたってつくってあそぼう」 幼児表現教育研究会編著 音楽之友社

「うたとあそび」 鹿児島市立幼稚園協会編集

「幼児のための音楽教育」 石井恵子 他 著教育芸術社

「幼稚園教育要領解説」 (最新版) 文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」 (最新版) 厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 (最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○参考書・参考資料等

「みんなでリズムクラッピング」 教育芸術社 「クラッピング・カルテット集」 教育芸術社

○学生に対する評価

全授業を通じた学びの過程 (グループ活動・個人発表含む) (40%) 定期実技試験 (30%)

課題曲合格状況 (30%)